

| | |
|-----------|---|
| 吉田議長 | <p>それでは再開いたします。</p> <p>次に3点目、「美里町総合計画書実施計画書」及び「主要な施設の成果」の様式の見直しについて入ります。</p> <p>まず、総務課長。</p> |
| 伊勢総務課長 | <p>それでは協議事項3点目の説明員を紹介いたします。</p> <p>始めに企画財政課長、佐々木義則でございます。</p> |
| 佐々木企画財政課長 | <p>佐々木です。</p> <p>どうぞよろしくお願いいたします。</p> |
| 伊勢総務課長 | <p>企画財政課長補佐、小野英樹でございます。</p> |
| 小野補佐 | <p>小野です。</p> <p>よろしくよろしくお願いいたします。</p> |
| 伊勢総務課長 | <p>以上です。</p> <p>よろしくよろしくお願いいたします。</p> |
| 吉田議長 | <p>財政課長。</p> |
| 佐々木企画財政課長 | <p>それでは、「美里町総合計画実施計画書」及び「主要な施設の成果」の様式の見直しにつきまして資料を基にご説明をさせていただきます。</p> <p>まず、様式の見直しの目的でございます。四つ掲載しております。</p> <p>一つは「実施計画書」及び「主要な施策の成果」のシステム化ということで、これまで「実施計画書」につきましてはシステムを運用しまして行政評価システムで作成しておりましたが、「主要な施策の成果」についてはワードを使って作成しており、議会等にもいろいろ誤り等が多くご迷惑等をおかけしていたところでございます。</p> <p>これらについて正確性を確保するというので、行政評価システムで一括管理をするというものでございます。</p> <p>次に二つ目といたしまして、「実施計画書」「施策の成果」の記載内容の同一化でございます。</p> <p>二つの調書の記載項目が今まで異なっていたというような部分等がございましたので、これらの改善を図りましてわかりやすくする、ということで統一した様式化をはかっていくということでございます。</p> <p>次に3点目といたしまして、事務事業と施策の結びつきの明確化ということで事務事業ごとに新たに目標値を記載いたしまして、事務事業の取り組むべき方向性、それから施策との関連付けを明確にしまして、目標の達成状況から事務事業の活動内容等々の見直しを進めていくというふうにし</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>ておるところでございます。</p> <p>四つ目といたしまして、活動の数値化、見える化でございます。</p> <p>これまで「主要な施策の成果」においては取り組み結果を極力、数値化をしてきたわけですが、今度から「実施計画書」と「施策の成果」を同一様式にするということで「実施計画書」の段階からその計画を数値化して明確にしまして、活動指標として活動量を示して事業の内容をわかりやすくしたいということでございます。</p> <p>これらも改善を図りまして、事務事業レベルのPDCAサイクルを行いまして事業の稼働性、有効性、効率性等を検証して事務事業の見直しを進めていきたいというふうに考えているところでございます。</p> <p>なお、この「実施計画書」の見直しにつきましては、平成29年度当初予算から、それから「主要な施策の成果」の見直しについては、平成28年度決算から実施したいと考えておりますので、議員の皆さまのご理解とご協力をお願いしたいと思っております。</p> <p>続きまして2の様式の主な変更点ということで、小野課長補佐から説明をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。</p> |
| 吉田議長 | 課長補佐。 |
| 小野補佐 | <p>済みません、それでは座ったままご説明させていただくことをご了承いただきたいと思います。</p> <p>引き続きの説明で中段にあります2様式の主な変更点でございます。</p> <p>こちらにつきましては、これまでばらつきのあったレイアウトあるいは文章表現が多かった取り決め内容について、具体的な数値を計画段階から記載していこうということで様式の統一化を図るものです。</p> <p>2番目にあります新たな様式の追加と記載しておりますが、記載のとおり、これまで事務事業、委員会・附属機関運営、施設管理と三つの様式で「実施計画書」「施策の成果」のほう作成しておりましたが、今回は事業、委員会・附属機関運営、施設管理、事務ということで四つの様式に基づいて作成していきたいと考えてございます。</p> <p>一つ様式がふえるという部分は、下にコメ印で記載しておりますが、今回、どうしても数値化、明確化を図るという中で事務事業を実は目標を掲げて具体的な事務内容を明らかにしていくこととしているところですが、どうしても選挙あるいは法定受託事務、税の課税といったような、または補助的な給付、義務的な自治事務等、すべての事業の目標を掲げて取り組</p> |

むというのは、なかなか困難な部分があることから新たな様式を追加しているところでございます。

三つ目に記載しておりますが、先ほど出ましたとおり、これまでの事務事業様式につきましては活動指標として数値化するほかに事業としての目標値を設定し可視化していきたいというものでございます。

各様式につきましては2ページ以降、A3見開きのほうで個別、具体的に主要な変更点を中心にご説明してまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

それでは2ページ、左側に既存の様式がございます。実施計画の様式になっております。右側に新様式として新しい今度から使用することとしております「実施計画書」「主要な施策の成果」の統一様式のフォームになっております。

こちらは職員福利厚生事業を記入例としております。

なお、大変申しわけありませんが記入例につきましては、企画財政課で作成した内容となっておりますので一部、担当課の取り組み内容を適切に表現できていない場合もあるかと思いますが、その点につきましてはご了承願いたいと思います。

それでは具体的に項目を確認していきたいと思います。

これまでの事務事業様式でございますが、まず、最初の事務事業名称から基本的なライブラリーとして款項目や施策の内容が記載されておりました、実施期間、事業の目的、事業の概要、事業の経過、関係法令等とこれまでは記載しておりました。基本的には若干、異なるかと思いますが右側の新様式のほうを見ていただければ、基本的に記載されている内容につきましては、大きな変更点はございません。

新様式のほうは、ただ、事業の目的等という区分の中で目的の下に新たに対象者ということで、その事業のターゲットを明確化して取り組むということで項目を新たに追加してございます。

次に、既存様式に戻っていただきまして、懸案事項という欄がこれまでございました。

懸案事項につきましては、今回は新様式のほうで項目欄としては設けてはいないわけですが、こちらにつきましては「主要な施策の成果」の際に、取り組んだ結果からその改善点等を必要に応じて新様式でいう活動指標及び目標欄にそれぞれ説明欄というのを今回、設けてございますので、取り

組み結果からそちらのほうに、そういった懸案課題等があれば記載するような形で項目内容としては網羅していきたいと考えているところでございます。

次に、既存様式としまして翌年度以降の取組欄という項目がございます。

新様式では今回、中段ぐらいに活動指標としまして各取組項目を28年度から32年度まで計画、実績欄、それぞれ数値項目を記載するようになってございます。

これまでは当該年度の実施状況あるいは翌年度以降の取り組みと項目が分かれて文章形式での表現でございましたが、今後は新様式では、この活動指標欄で美里町の総合計画、総合戦略を平成28年から32年度までの計画期間で策定しているところですが、その計画期間の5年間の想定する活動量として、項目数値化して取り組んでいきたいとしているところでございます。

最後に事業費欄です。既存様式では、3年間の事業費等を表示しておりました。新様式では先ほどご説明いたしました活動指標欄と同様に5年間の表示としております。

既存様式に記載がある年度間別の事業費とは別に節別の経費というのが記載されておりますが、こちらにつきましては大変申しわけございませんが、新様式ではレイアウトの都合等もありまして記載箇所はございませんが、予算書でその事業の経費という部分をご確認いただければと考えております。

なお「主要な施策の成果」の調書の際には、事業費欄に当初予算ということで既存様式では年度の下に（当初予算）と記載がございましたが、主要な施策の際にはこちらが今度、決算額ということで決算の数字が入るようになるレイアウトとしてございます。

これまで「主要な施策の成果」では財源内訳欄がございませんでした。代わりに補助、単独という区分欄があったわけですけれども、今後は決算においてもこの財源内訳の欄をこのまま活用し記載することによって、当初と決算というのを同じ視点で確認いただけるようになるかと思っております。

事務事業様式につきましては簡単ですが以上で終わります。

めくっていただきまして3ページ目。こちらは附属機関との委員会の運営の様式となっております。

基本的なライブラリー構成は先ほどご説明しました様式に準じたような

形になっておりますので、この様式の主な変更点あるいはそのレイアウトの特性について簡単に触れたいと思います。

これまでの既存様式にあります設置の目的及び任務、あるいは会議開催という時期、あるいは委員の状況ということで定数及び報酬等、公募、女性委員の割合等を記載しておりました。また関係法令、こちら共に新様式でも項目としてレイアウトは異なるのですが、そのまま記載しています。

ただ、この様式では中段に活動状況ということで会議開催状況等がありますが、ここの活動状況欄のところ、委員会運営ですから活動指標としましては原則、会議の開催、次に答申・意見書、そういった数を活動数量として、まず固定的に表しまして、その年度につきまして、いつ、何回、どのような会議を開催するかというのをこの会議開催状況欄の何月という欄に記載していくというふうにしておりまして、決算の際には出席委員数が延べ人数欄に入ってくるというようなレイアウトとしてございます。

こちらが事業期間としましては、平成 28 年から平成 32 年までの 5 年間の計画としているところでございます。

次にめくっていただきまして、4 ページ目。こちらは施設の運営の様式となっております。

記入例といたしましては健康福祉センターの施設管理事業を記載してございます。

これまでの既存様式では、どちらかと言いますと管理運営の形態が主要な項目となっており、そのほかに修繕工事履歴等を記載しておりました。

新様式では、管理の運営形態ということだけではなく、関係法令やあるいは 28 年 3 月に策定しました美里町公共施設等総合管理計画との関連性、あるいはその施設の設置目的、施設の概要のほか新様式の中段くらいにあります用途や構造、そういった施設情報を新たな項目として記入することとしております。

なお、この様式にはどうしても一つひとつの建物で作成することをイメージして様式の項目を策定しておりますので、例えば建物というよりはインフラ系、道路であったり防犯灯であったりと、そういったものにつきましては、その特性に応じてこの施設管理様式であったり、一番初めにご説明させていただきました事務事業様式を選択するかという部分は、その状況に応じて現在もそういう状況があるわけなのですが、整理してお示ししていきたいと考えております。

| | |
|------|---|
| | <p>施設につきましては、活動量としましては施設の利用状況、こちらは施設の特性に応じまして開館あるいは利用日数、収入状況とか、そういったもの。施設の利用状況がどうなっているのかという点につきまして、活動量をこちらのほうに記載するようにしてございます。</p> <p>なお、事業費の欄に内書きで工事費というのを設けております。こちらは中段ぐらいにあります主な工事履歴（計画）とありますが、32年度までにどういった工事を予定しており、その工事費、どれくらいを想定しているのかというのを、きちんと計画段階から32年までに計画性を持ってやっていくという視点を持って、このような記載項目を設けてございます。</p> <p>最後に、めくっていただきまして5ページ目、こちらが事務様式としてある様式でございます。</p> <p>既存様式には、記入例といたしまして児童手当給付事業を例として記載してございます。</p> <p>こちらは国の法定受託事務として給付を目的として生活の安定あるいは目的欄にあります。児童の健全な育成及び資質の向上に資すると目的にしているわけですが、なかなかその指標を明確にするというよりは、そういう目的から1万円、あるいは1万5千円を給付、扶助していくということでございます。</p> <p>そういったことから、こちらを2ページ目の最初の事務事業様式とご確認していただければわかりますとおり、新様式では一番、最後のところの欄として目標欄を設けてございませぬ。こちらは、どういった事業を具体的にどのように取り組んでいくかという点を、より記載していくような様式として今回、作成してございます。</p> <p>現在の事務事業様式に目標設定欄がないことからすると、どちらかというと、この事務様式が既存の様式に近い形で、最初にご説明させていただきました事務事業様式のほうにつきまして新たに目標を掲げて事務事業の実施に取り組んでいきたいとしているところでございます。</p> <p>私からの説明は以上となります。</p> <p>よろしく願いいたします。</p> |
| 吉田議長 | <p>それでは、ただいま3点目に関わる説明をしていただきました。</p> <p>この様式の変更をしたいというようなことですが、何か聞いておきたいということありますか。</p> <p>柳田議員。</p> |

| | |
|-----------|--|
| 柳田議員 | <p>1点確認しますけれども、全体的なところでなんですけれども。</p> <p>28年から32年まで数字が書いてありますけれども、表示の仕方、今までは見込みから計画になっていると。それで32年度まで町の計画があるという解釈でよろしいですか。</p> <p>となれば今後、29年、30年となったときに、やはり32年までの表示なのか、それ以降の年度が随時、更新されて、そこが計画じゃなくて見込みになるのかどうか。</p> |
| 吉田議長 | 課長。 |
| 佐々木企画財政課長 | <p>今回の活動事業、それから事業費等につきましては総合計画の実施期間であります32年までということで、この様式を現在のところ5年間というか、32年まで固定してというところで年次が30年になれば、その後5年間を表記するという形ではなくて、この様式は32年度まで同じ形態で現在、その計画期間の計画数値それから実績を明記していくという形で考えているところです。</p> |
| 柳田議員 | わかりました。 |
| 吉田議長 | <p>ほかに。</p> <p>佐野議員。</p> |
| 佐野議員 | <p>大変いいことだと思うのですが今後、「実施計画書」なり「主要な施策の成果」ということで、公営企業のは出ていないと思うのですが、その辺はどのように考えているのか、水道なり、病院なり。</p> |
| 吉田議長 | 課長。 |
| 佐々木企画財政課長 | <p>企業会計の部分については、今回の「実施計画書」それから「施策の成果」の様式作成は含まないということで、予算の説明資料さらには決算の説明資料の中で事業内容を従来どおり説明していくという形で考えているところでございます。</p> |
| 吉田議長 | <p>企業会計は別だね。</p> <p>いいですか。</p> |
| 佐野議員 | はい。 |
| 吉田議長 | 千葉議員。 |
| 千葉議員 | <p>ここまで管理をするというの、大変だなという率直な感じがします。</p> <p>また、こういうシステムを作っていただくことは、大変ありがたいことなのですが、これを実行する仕組み、例えば分散している情報の、ここに集める情報のリンクの仕組みまで出来上がっているのかどうか。</p> |

| | |
|-----------|--|
| | <p>全部はできなくても、例えば関係法令とか計画とか実施計画、そういうのがどうかというのは全部、リンクした仕組みにまず一つになっているのかどうか。</p> |
| 吉田議長 | <p>課長。</p> |
| 佐々木企画財政課長 | <p>現在の様式等も含めて関係法令さらに活動指標等については、施策の成果のほうで主に活動内容については表記させていただいていたところですが、それらを今回は計画段階からその辺を、いわゆる予算でいえば予算でどういう、いわゆる事業量を計画しているかというものを明記して管理を進めていくと。</p> <p>この新様式の作成に当たりましては、活動指標さらには目標の指標を設定するという事で、この辺については、やはり各課の課内も含めて、それからうちのほうの課も含めて、その辺の討論をしながらこちらを決定して進めていくというようなことで現在、準備をしているというような状況でございます。</p> |
| 吉田議長 | <p>千葉議員。</p> |
| 千葉議員 | <p>ということは、要するに情報を一回入れたら全然、集約して、あるところですね、間違いなくつながるといふような仕組みにできるだけしないと、こういう細かい情報データを整理する担当部門ですね、実行部門が追いつかなく、人は足らなくなる、いろいろな環境変化の中でそこを大事にしないと、なかなか難しくなってから困るなということ今のような質問をしましたので、ぜひ、そういう努力をお願いしたい。</p> <p>それから二つ目、この評価、目標については今、ここに例がいくつか出ていますけども、要するに絶対的に評価基準を作れるものと相対的な評価にしかならないものというものがあると思います。</p> <p>相対的な評価基準を作る場合、やっぱり例えば数字に置きかえられない、その現状をどう変えるかと。基準が現状ということになると思うのですけれども。そういうことが明確に、これはそれを基準にした評価基準だなというのがわかるような対応をお願いしたいなというふうに思います。</p> <p>これ二つ目です。</p> <p>これについてはいかがでしょうか、じゃ、まず。</p> |
| 吉田議長 | <p>課長。</p> |
| 佐々木企画財政課長 | <p>今、議員さんからお話があったとおり、この目標の設定については事務事業の目的等に応じまして、今まで何せそういう指標、計画値を設けてや</p> |

| | |
|-----------|--|
| | <p>っているというのが、職員自体も慣れていないという部分も当然ございます。この辺につきましても十分、職員、課内も含めて、我々も含めて十分考慮をしながら、ま、状況によりましては話があったとおり、それが達成目標というものだけではなくて、どうしてもそうあればいいなという、そういう目標設定にならざるを得ないものもあるかと思しますので、その辺については、あと内部でも十分協議をして最終的に固めていきたいと思しますのでご理解をいただきたいと思ひます。</p> |
| 吉田議長 | 千葉議員。 |
| 千葉議員 | <p>それから本庁舎内がこれだけ細かい、実際の計画と結果、P D C Aがよく回るように、一応なってきた大変、私、個人的には素晴らしいことだと思ひますけれども。</p> <p>補助金について、補助金がどう使われてP D C Aを回しているかということ、どういう方法で表現をさせるのか考えがあったら。</p> |
| 吉田議長 | 課長。 |
| 佐々木企画財政課長 | <p>今、この町の持っている事務事業については、補助事業一つ一つをこの事務事業というような取り扱いをしていない部分も当然あるわけですが、ただ、この補助金を出した各種団体の活動内容等もできれば活動指標の中に、それらの活動内容等も盛り込んでいければと考えております。</p> <p>ただ、全体的な、そのP D C Aを回すという部分になりますと、この調書だけでは厳しい部分もあるのかなと。こういうことで、そちらについては毎年、各補助金に対して法令外負担金審査等もございしますので、それらの中でその内容の精査等を進めながら、次年度の主な事業活動の検証等を進めていきたいと、こういうふうに考えております。</p> |
| 吉田議長 | 千葉議員。 |
| 千葉議員 | <p>今の補助金についてですけれど、基本的には法令によって当然やらなくちゃならない補助金と裁量権で出すものとあると思うのですけれども。</p> <p>現実に当然、補助金は目的がありますので目的はあると思う。それに対して、どういうふうに町として活動していただいて成果を出すかということが大事な問題点。</p> <p>特に行政サービスが内部で全部できない場合は、外部委託ということは、これからふえることはあっても減ることはないだろうと思ひますので、その辺の仕組みをぜひ、成果に結びつくようなことも。契約ではないですけれども補助金を出すときに、書類の整理をお願いしたいと思ひますけれど</p> |

| | |
|--------|---|
| | もいかがでしょうか。 |
| 吉田議長 | 副町長。 |
| 佐々木副町長 | <p>千葉議員のおっしゃるとおりでして、補助金の交付については金額うんぬんもありますけれども、まず、補助金の要するに使い道というのをしっかり町としても、出口でばかり言うんじゃなくて入口の段階から言わなければならない。町として今年度はこういう達成目標を掲げておりますから、その分についてご協力を願う、あるいは町に代わって仕事をしていただくということがやっぱり大切です。それがなければ事業としての成果が出たか出ないかというのはわからないと思いますので。</p> <p>今後、補助金の交付申請があった段階では、すぐには変えられはしませんけれども、平成 29 年度から町として掲げているこの事業に関しての掲げられている目標はこういうものなのですということでお示しをして、それについては単年度で取り組めるものもあれば複数年度かかるものもあると思いますので、そこは補助金の交付をする段階で、補助金の交付を受ける団体とのやっぱり協議も必要になってくるのではないかと。</p> <p>やっぱり町として何のために町民の皆さんからお預かりした補助金を交付しているのかというのが、交付する町側もそうですが、受ける側もそこは認識をしていただく必要が今後は出てくるとと思いますので、町としてもそここのところは、達成の目標をやっぱりきちんとお示しする必要があると思っております。</p> |
| 吉田議長 | <p>いいですか。</p> <p>山岸議員。</p> |
| 山岸議員 | <p>新様式については、前回よりもより具体的になったことは大変評価をしたいと思っております。</p> <p>ただ、ちょっと懸念することが私、感じましたので説明を受けたいと思います。</p> <p>前回の様式ですと、懸案事項とか翌年度以降の取り組みという文言がございました。今度の新様式につきましてはすべて経過、説明という形でね、この説明も今、例を見ますと前回は懸案事項は職員さんがこういう反省点がありますよというような内容で受け止めているということで、私たちが議員としての資料を見たときに、あ、こういう課題や問題があるのだなというのが理解できたのですけれども、新様式になりますと課題がちょっと不透明になりやすいのかな、わかりにくいのかなという私、印象を受けま</p> |

| | |
|-----------|---|
| | <p>したので、その辺についてはどのように考えての、こういう説明という形を取ったのかとお話をいただきたいと思います。</p> |
| 吉田議長 | <p>課長。</p> |
| 佐々木企画財政課長 | <p>今回のこの様式の説明につきましては、「実施計画書」という形で、この例を示させていただいたところです。</p> <p>今度はこれが実績の数値が入りまして「施策の成果」に関わるということで、この活動指標の下にある説明欄、さらには目標の下にある説明欄、その活動に対する懸案事項、さらには翌年度以降の取り組みなり方針をここの欄に記載をしていくという形を取っていきたいというふうに考えておりますので、ご理解をいただきたいと思います。</p> |
| 吉田議長 | <p>山岸議員。</p> |
| 山岸議員 | <p>私、先ほど言ったのは、前の様式の懸案事項とか翌年度への取り組みということのほうが、むしろ新様式よりもこちらの説明のほうが、私はむしろ職員さん、我々議員にとっても課題や翌年度はこういう方法でやるのだなという考え方が共有できると思っていたのですね。</p> <p>新様式は、さっきの説明で努めるとか、達成を目指すという、目標値になっています。この辺なんか、ちょっと明確でないのかなと。少し不透明になったのかなという印象を持ちましたので、この辺をもう少し明確な表現できるようにされたほうが、むしろいいのではないですか。</p> <p>何もかも全部改善すればいいということではなくて、前のほうがむしろよかったという部分もありますから。</p> <p>その辺はいかがでしょうか。</p> |
| 吉田議長 | <p>理解できるように、課長、補佐、どっち。</p> <p>じゃ、課長補佐。</p> |
| 小野補佐 | <p>それでは議員さん、お話いただきました点をより気を付けながら、各課、また総括する企画財政課で説明欄の記入内容について注意していきたいと思うのですが、ここで企画財政課としましても懸案事項欄を実施計画の段階から具体項目として一回外したのは本来、成果から改善、提案が生まれて実施計画に結び付けるものが、実施計画の段階からもう計画していて懸案があるという違和感も正直ありまして、項目としてあえて分けてはいないのですが、きちんと説明の段階で、また計画の段階で必要に応じて説明欄とか事業内容欄で補足していきたいと思いますので、ご理解いただければと思います。</p> |

| | |
|------|--|
| 吉田議長 | 山岸議員。 |
| 山岸議員 | <p>私が前よりもわかりにくくならないで、逆に改善することによって、よりわかりやすいふうになっていただければということなので、今の説明で一応、理解をしましたので、改めてそのような方法で進めていただきたいと、こういうふうに思います。</p> <p>以上です。</p> |
| 吉田議長 | 我妻議員。 |
| 我妻議員 | <p>まず一つは、さっき 32 年度までの総合計画、5 カ年でということでしたが、これまでの実施計画、3 カ年のローリングのやつが、この 32 年度ぎりぎりになったときの、実施計画 3 カ年ローリングの基本的な考え方、どういうふうに考えるのか。</p> |
| 吉田議長 | 課長補佐。 |
| 小野補佐 | <p>まず今まで議員、ご指摘のとおり 3 年ローリングとしてきたところあるのですが、やはり計画をきちんと作った中じゃないと、その事業性というのも明確にできないんじゃないかということで今回は、まず総合計画、計画期間 5 年間とさせていただいたところですが、総合計画は当然、計画期間終了近くになればまた新たな計画策定とかということになっていくと思います。</p> <p>今回は 28 年度に新しい総合計画を策定しているところですが正直、この事業の実施計画をより明確にという部分のスタートが若干、立ち遅れたと思って反省してございます。</p> <p>そういった点からも次期計画の部分では総合計画、政策、施策を議論しながら達成する事務事業の部分とあわせて計画、きちんとしていきたいと考えているところでございます。</p> |
| 吉田議長 | 我妻議員。 |
| 我妻議員 | <p>ですから、次期計画のつなぎね。32 年度までそれがどのように次年度に継続されるのか見えなくなってしまうので。ぷつと切れるわけではないでしょう、今言ったように。31 年度に 1 年前から作業始まるの、その次期計画の策定作業が始まると思うのだけれど、その辺の継続性をどういうふうに見えるようにするのかなと。</p> <p>32 年でぷつと切れて、33 年度以降は見えませんが、ではないと思うのでね。その辺はどう考えているのかな。</p> |
| 吉田議長 | 課長。 |

| | |
|-----------|---|
| 佐々木企画財政課長 | <p>今、議員さんからお話があったとおり、32年で切れてその先の計画が、後ろに行けば行くほど見えなくなるということですので、こちらについては今後、32年でその先の計画が見えないということではうまくないので、これは30年ごろに、その先の計画についてある程度、練った中で、今までの3年間のローリングの形態も見えるような形で今後、検討をさせていただきたいというふう思います。</p> |
| 吉田議長 | <p>とにかく、見える化をしていくと。 我妻議員。</p> |
| 我妻議員 | <p>あと、さっきの質問にもあったけれど、要はこの新様式は、この様式のまま成果のほうにも活かされると。 そこには、例えば最初の事業様式の例で言えば、計画というのは実施計画で記載されているやつと。成果の欄で出てくるのはこれと同じ様式で実績のほうに数値あるいは表記が表れるという考えでいいのですか。同じ様式で出るということですか。 (「そのとおり」の声あり)</p> |
| 吉田議長 | <p>課長。</p> |
| 佐々木企画財政課長 | <p>そのとおりでございます。 活動指標なり目標については実績の数値が入ってまいりまして、事業費については現在、予算額となっている部分が決算額に置き換わるということになります。</p> |
| 吉田議長 | <p>我妻議員。</p> |
| 我妻議員 | <p>あとは事務的なあれだと思っけれども。 5ページの事務様式を見て、款項目が子ども家庭課、単純なミスかと思いますが、新様式になったら総務費のほうに移るのかなというふうに。</p> |
| 吉田議長 | <p>課長。</p> |
| 佐々木企画財政課長 | <p>どうも大変、申し訳ございません。 今回、新様式に掲載しております款項目表記については、単純な記載誤りでございますので、隣の既存様式の款項目に置き換わると。 申し訳ございません。</p> |
| 吉田議長 | <p>じゃ、よろしいですね。 福田議員。</p> |
| 福田議員 | <p>4ページなんですけれども、建物公共施設に関して耐用年数というのは、これはあと何年、耐用ですよという形ですか。</p> |

| | |
|-----------|--|
| 吉田議長 | 耐用年数の欄ね。 (「建設年度」の声あり) |
| 福田議員 | 建設年度が書かれていないので。(「ある」の声) 耐用年度がこれくらいですよというのが耐用年数、そして1年ずつこう減っていくの。 |
| 吉田議長 | 課長。 |
| 佐々木企画財政課長 | この様式、建設年数については右上のほうに建設年度を表記しております。この耐用年数というのは、あくまでその建物に対する耐用年数ということで、ここの数値は減っていくということではなくて、逆に見ますと建設年数が平成4年ということで、耐用年数のある期間の平成39年までというようなことになりますので、ご理解いただきたいと思います。 |
| 吉田議長 | 福田議員。 |
| 福田議員 | 主な工事履歴なんですけれども、これは施設、全部10年ごとのやつをこれから列記するということですか。 民生費のさるびあ館、例えば今までのやつだと23年度にやっているし、25年度もやっている。何によってこういうふうに区分けになっているの。 |
| 吉田議長 | これは、例えばの例だから。 |
| 福田議員 | 何か基準があつての区分けでしょう。 |
| 吉田議長 | 課長補佐。 |
| 小野補佐 | こちら、おおむね合併後の修繕工事履歴をこれまで記載してきておるかと思うのですが、今回の新様式ではある程度のレイアウトが限られる部分もありますので、現時点からすると5年前ぐらい、計画期間の32年までの現時点から入れると約5年間の計画ということで、おおむね10年間を年度表示して前後の工事履歴という情報をこちらに記載するようにしてございますので、例えば記載例で言えば平成25年度実績がなければ空欄という形になってございます。 |
| 福田議員 | 聞いているのは、10年間のやつをすべてのものを載せるということ、まず、そうなのですか。10年間を載せると。 |
| 小野補佐 | 主なということで、すべて記載できるかということもありますので、極力、工事内容、これまでの履歴として記載させていただきたいとは思ってはいるのですが、すべて小さい修繕から含めてというのは難しいかなと思っております。 |
| 佐々木副町長 | ここは載せるのは、必ず10年のスパンを取るのですかと聞いているだけ |

| | |
|--------|---|
| | <p>なの。(「さっきの計画のね」の声あり)</p> <p>だから計画があれば載せるだけであって。</p> |
| 福田議員 | 10年間を載せると、まずね。 |
| 小野補佐 | そうですね。 |
| 福田議員 | <p>主な工事というのは、その金額によって違うのか、あえてここ、ないので。金額でここ変えるのかなと。主な工事だと主な工事、何か基準があると思うのだけれど。</p> |
| 佐々木副町長 | 工事だから。 |
| 吉田議長 | 副町長 |
| 佐々木副町長 | <p>ここを工事とこだわったのは、修繕とかそういった業務ではなくて資本的支出、つまり改修とか新たな価値を付け加えるという意味での工事ということで、金額には変わりない。むしろ修繕というのが500万かかる、工事が300万というのもあるわけ、実際で言えば。</p> <p>そういうのがあるので、ただ、金額の判断でなくて新たにそういった価値を付けるという意味での工事ということにしたのね。そういうことなの。</p> |
| 福田議員 | わかりました。 |
| 吉田議長 | <p>いいですね。</p> <p>(「はい」の声あり)</p> <p>来年度より、こういった様式でということのようです。</p> <p>毎年3月、9月、途中で訂正等がありますので、表の中にもありましたけれども、とにかくこれは横の連絡をきちんと取って、ないようにお願いしたいと思います。</p> <p>3点目につきましては、以上ということにさせていただきます。</p> <p>ちょっと時間も経過していますので、これ以降の件については午後からということさせていただきます。</p> <p>再開は1時。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p> |
| | <p>休憩</p> <p>11:55</p> <p>再開</p> <p>12:59</p> |